

令和6年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol. 3

No.121 上北野保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 保育所保育指針を基に全体的な計画及び指導計画の作成や子の学びの姿を職員間で共有する。	(1) ◎	
		(2) 自己チェックリストによる自己評価や保育計画の見直しを行い、教育・保育の質の向上を図る。	(2) ◎	一人一人が保育を振り返り、その後、全職員で話し合い、保育の見直しを行った。
		(3) 保育カウンセラー訪問を2回実施し、ケース検討を通して子どもの発達状況や特性を理解する。	(3) ◎	
		(4) てんかん・けいれんを持つ児の情報共有や対応のマニュアル化を実施し、保護者と密に連携する。	(4) ◎	保護者と連携をとり、けいれん・てんかん対応の研修会を開催すると共に、定期的に研修を行い、よりよい対応を保護者と共に考えていった。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研究委員や園内リーダーを中心に園内研修を行い、職員間で保育の知識や技術を共有し質の向上に努める。	(5) ◎	
		(6) 運営管理、教育・保育、子育て支援に関する国や県内外の動向情報を収集し、園運営に活かしていく。	(6) ○	
		(7) 研修開催案内の情報収集や提供を行い、研修意欲を高め、職員が積極的に研修に取り組めるようにする。	(7) ◎	
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や送迎時に保護者と対話する中で、情報を共有するなど子育て支援の充実を図る。	(8) ◎	
		(9) 感染症の発生状況や食育など保護者に情報を提供し、必要に応じて看護師が相談支援を行う。	(9) ◎	
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放の日時の情報提供を行う。	(10) ○	
		(11) 福井市の子育て支援に関する情報を提供する。	(11) ○	保護者の状況に合わせて、必要な情報を提供していった。
		(12) 園開放を通じて、地域の子育て家庭の相談に応じ、育児不安の軽減を図る。	(12) ○	
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターと連携を図り、情報を共有していく。	(13) ○	必要に応じて情報を提供したり、電話で子どもの姿や保護者支援について確認したり共有していった。
		(14) 民生児童委員と連携し、地区の子育てや園の情報を共有する。	(14) ○	
		(15) 園小接続会議に参加や、授業参観・保育参観などの交流を行い、小学校と連携を深める。	(15) ◎	
		(16) 子育て支援に関わる関係機関事業の情報を収集し、情報を提供する。	(16) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 小学校地区(和田・円山)の公民館活動にできるだけ参加し、地域との連携を図る。	(17) ○	和田地区ふれあい祭りの作品展示に参加した。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 地域活動事業を実施し、地域に根ざした保育園づくりに取り組む。	(18) ○	感染症の状況をみながらできる限り園開放を開催した。
		(19) 保護者会と園とが協力し、行事などを通して保育園への理解を深めていく。	(19) ○	
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 園開放を通し、歌あそびや絵本の読み聞かせを実施し、子育て支援活動を広げる。	(20) ○	
		(21) 地域の文化祭等に参加する。	(21) ○	
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 研修に参加し、社会の動向や園の在り方について知る。	(22) ○	
		(23) 保育研究合同発表会で一年間の園での研修を発表する。	(23) ○	
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画を作成し、反省評価を職員間で共有する。	(24) ○	園内研修で取り組んできたことを職員間で振り返り、反省点や今後の課題などを検討し、次年度へつなげるようにした。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。